

## ありがとう、ごめんなさい、そしてさようなら

第21期生 中越 栞莉

人は、「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ美しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知るんだそうです。小野ゼミでの2年間、小野先生や、OB・OGの皆様、大学院の先輩方、卒業された第20期生の先輩方、後輩である第22期生、家族や友人、そして同期の第21期生、多くの方々の優しさに私は何度も救われてきたし、その度に何度も感謝の気持ちを抱きました。また、小野ゼミの2年間、失敗から多くのことを学びました。多くの方々にご迷惑をおかけしましたが、その失敗を糧に大きく成長できた気がします。そして、卒業が近づき、多くの方々に支えられて小野ゼミでの2年間を過ごしてきたことを実感しております。

まずは、小野晃典先生。2年間本当にありがとうございました。同期に比べ、頭が良いわけでもなければ、愛嬌があるわけでもない私を、温かくご指導してくださったこと本当に感謝しております。同期よりも能力が低いと自負しているの、その分努力しようと思いつつ、活動に取り組んだ2年間でした。最終ゼミの日に先生が「君は偉いね」という言葉をかけてくださり、その言葉で、この2年間の努力が認められたような気がしました。2年間、本当にありがとうございました。

次に、OB・OGの皆様。OB・OG訪問を受け入れてくださったり、ESの添削をしてくださったりと本当にありがとうございました。みなさんのような素敵な社会人になれるか不安ですが、小野ゼミの名に恥じないよう、精進したいと思います。卒業しても、飲みを誘っていただけると嬉しいです。

大学院の先輩方。いつでも相談に乗ってくださったり、ネガティブになっている私を励ましてくださったりして、本当にありがとうございました。石橋を叩いて渡るような性格の私は、しつこいくらい何度も相談させていただいていた気がします。それでも、嫌な顔1つせず、受け入れてくださって感謝しかありません。

第20期生の先輩方。先輩方に憧れて、小野ゼミに入りましたが、その選択は間違っていなかったと胸を張って言えます。いつも優しく、困ったときには手を差し伸べてくださったり、ご飯に連れて行ってくださったりと、本当にありがとうございました。

第22期生のみんな。私はあんまり的確なアドバイスとかできるタイプではなかった気がしますが、頼ってくれて、慕ってくれてありがとう。これからも大変なことがたくさん待ち受けていると思いますが、みんなならきっと大丈夫。素敵な先輩になれると思います。

そして、同期である第21期生のみんな。みんながいなかったら、小野ゼミでの2年間を走り抜けることはできなかったと思います。それくらい私にとって、大きな存在でした。自由だけど、ネガティブというややこしい性格の私が、こんなにも楽しく充実した日々を送ることができたのは、芯があって、思いやり

の溢れるみんなのおかげです。本当にありがとう。みんなと出会えてよかったです。

小野ゼミでの2年間、たくさんの方と出会い、たくさんの方に支えられて、たくさん賢くなり、たくさん美しくなり、そしてたくさんのお愛を知った気がします。これからの社会人生活、「ありがとう」と「ごめんなさい」を忘れずに、大切な人にたくさんのお愛を送っていきたいです。



小野ゼミでの2年間